

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!

いつもご覧いただきありがとうございます。
今回の更新で13回目となりました。
100万人の防災!地震対策は今日(京)から始めましょう!



■「宮城県沖地震」はこれからやってきます!

平成 17 年 9 月 9 日掲載

平成 17 年 8 月 16 日午前 11 時 46 分頃、マグニチュード 7.2、震度 5 強の揺れが仙台市を襲いました。

「宮城県沖地震がついにきた〜!」と思った方も多かったことでしょう。しかし、その後の発表によると、これは想定されていた宮城県沖地震ではありませんでした。今回の地震により私たちは、今後予想される宮城県沖地震に向けての、十分すぎる教訓をもらったのではないのでしょうか。

やはり、ブロック塀が倒壊しました。屋根瓦も降ってきました。
また、27 年前にはなかったエレベーターへの閉じ込め、新幹線のストップがあり、列車はお盆の帰省客を閉じ込める蒸し暑い箱に変わりました。
電話もつながらず、多くの方が不安な時間を過ごされたことと思います。

● ブロック塀

今回の地震で倒壊したブロック塀



ブロック塀が倒れました。

コンクリートブロック1個の重さは、ブロック塀にすると約20kg、皆さんが毎日食べているお米の袋(5kg入)4袋分です。

どうですか、重さを感じていただけますか？

27年前には大丈夫だったブロック塀も老朽化が進んでいます。「地震のときは近寄らない。離れる。」を徹底しましょう。



27年前のブロック塀倒壊

また、ご自宅にブロック塀をお持ちの方には、今一度点検をお願いいたします。

● 瓦の落下

今回の地震では、屋根瓦が落下する被害が目立ちました。

「ガシャガシャガッシャーん!!!」被害に遭われたお家の方は「ものすごい音がして瓦が崩れた。」と話していました。



すぐ外に飛び出すと、このような瓦などの落下物に当たって怪我をすることが考えられます。

家の耐震が保たれていれば、建物の中のほうが安全です。

27年前の宮城県沖地震を教訓として、昭和56年に建築基準法が改正されて耐震基準が強化されています。

それ以前の基準で建てられ、まだ診断を受けられていない方には、ぜひ耐震診断を受けられることをお勧めいたします。

● エレベーター

今回の地震でエレベーターに閉じ込められ、消防隊による救助が行われたのは、仙台市内では3件だけでした。

しかし、7月23日に東京都で震度5強の揺れを感知した地震では、新聞報道によると、1都3県で停止したエレベーターが約6万7000台、このうち、閉じ込められた事案が76件に上りました。

このときの救助までの時間は平均50分、最大で170分も閉じ込められたケースもあったようです。

地震によってエレベーター内に閉じ込められたとき、私たちはどうすればよいのでしょうか？

一般の人がエレベーターから無理に脱出を試みますと、二次的な被害の発生が考えられます。

階数ボタンの上に非常用の呼び出しボタンがありますので、管理室などに閉じ込められたことを知らせてください。

必ず救助されます。

その後はただひたすら待つことが一番です。



イメージをつかんでいただくため、消防局のエレベーターを停止させて100V電源も切った状態の写真です。

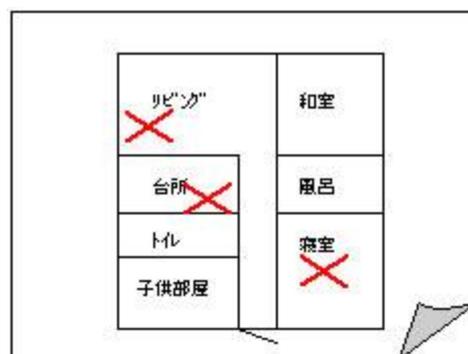
暗くて見えづらいかもしれませんが、非常灯の明かりだけです。

定員11名、積載750kg、広さは140cm四方のエレベーターです。

■ 住まいをチェックしましょう！

家の中での被害を少なくするため、何らかの対策をしなくてはと思われたのではないのでしょうか。でも、すべての対応を一度にすることは難しいですね。まず、お住まいの間取りを紙に描いてください。「縮尺」、「方角」は大体で結構です。

間取りを描いたら、被害を受けられる場所に×印をつけてください。



ワンルームにお住まいの方は家具、テレビ、冷蔵庫の配置などを描いてください。

ご自宅だけでなく、お仕事場などもこのようにチェックしてみてください。

×印がついているところがいつも居る場所ならば、まず、そこから地震対策を始めましょう。

さあ、地震対策に一步踏み出しましょう！

※ 8・16 宮城地震の発生を受け、掲載予定内容を変更しました。